

なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和3年1月20日号



モーっと 良い年にしましょう！



▲“年賀状”は「絵手紙サークルぎんもくせい」の会 早坂照世さんの作品です

▲“門松”は「みちくさの会」若松東征^{はるまさ}さんの作品です

丑年の2021年がスタートしました。牛は古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物でした。大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ（芽が出る）」というような年になるといわれています。去年は、新型コロナウイルス感染拡大というこれまで経験したことのない困難に見舞われ、多くのボランティア活動も自粛を強いられました。2021年は、新型コロナウイルスの感染拡大に耐え、希望の芽が出る年になることを願っています。先を急がず一歩一歩大地を踏みしめて前進する年にしましょう。

【QRコード】



▲ボランティア
センター情報誌



▲那須塩原市社協
フェイスブック

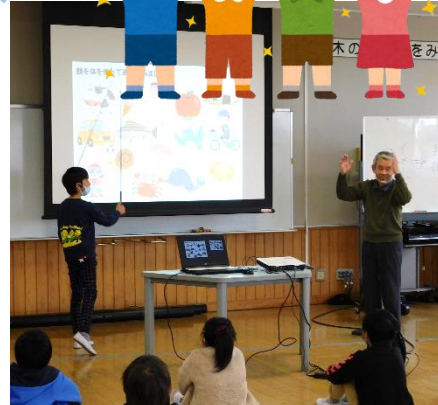
大山小学校 4 年生～楽しく手話体験～



▲講師の鈴木弘義さん



▲手話体験の様子



▲何の手話をしたかわかるかな？

11月26日（木）27日（金）の2日間、大山小学校の4年生が手話を体験しました。新型コロナウイルスの感染予防対策として、2時間のプログラムを1クラスずつ実施しました。現在、当会が行っている手話体験は、主に鈴木弘義さんが手話通訳を交えて行っています。鈴木さんは、生まれつき耳が聞こえませんが、手話を広めたいという思いから、市内の小学校などを中心に活動しています。



鈴木さんの手話講義は『手話を学ぶことで耳の不自由な人に対する接し方を理解すること』を目的として行っています。児童たちは、手話には、ろう者が使う日本手話^{*1}や中途失聴者・難聴者が使う日本語対应手話^{*2}があり、人によって使う手話が違うということや、聴覚障害は外見ではわかりにくい障害であるということ、そして、どのようなコミュニケーション方法があるのかを教わりました。次に、手話を親しむために動物や食べ物、スポーツなどを身振り手振りで表現したり、覚えた手話を鈴木さんに伝えたり、鈴木さんの手話を見て何を表しているかを当てるゲームで楽しみました。その他、あいさつや自己紹介、「私は、大山小学校の4年生です」という手話表現などを学んだ後は、思い思いの手話を発表し、限られた時間の中で児童たちは真剣に手話を学んでいました。最後の質問と感想の時間では「耳が聞こえなくて不幸だと思うことはありますか」という質問に「不便なことはあるけど、不幸だとは思わないです」と答えていたのが印象的でした。また、「覚えた手話を家族に教えてあげたいです」との感想もあり、鈴木さんは「みんなが手話を覚えてくれて嬉しいです」と感謝の気持ちを伝えました。

後日、鈴木さん宛に児童一人一人から手紙が届き「耳の不自由な人の大変さがわかりました」「始めは興味がなかったけど、鈴木さんが楽しく手話を教えてくださったので手話に興味を持つことができました」「もっと手話を勉強したいと思いました」などの感想が多くあり、この手話体験を通して聴覚障害者への理解が深まり、手話が広まっていると実感しました。

小学校等で手話体験を行いたい場合は、ボランティアセンターまでご相談ください。

※1 ろう者同士のコミュニケーションの手段として使われている独自の文法体系を持つ言語です。

※2 日本語に手話単語を1語1語合わせて考えられたもので、日本語の文章に合わせて手話の単語を並べます。



▲児童からの手紙

▼手話体験テキストの一部です！見やすくわかりやすい内容になっています♪

《違いを知ろう》

- 【ろう者】 → 日本手話
- 【中途失聴者】 → 日本語対应手話
- 【難聴者】 → 日本語(音声)
- 【聴者】 → 日本語(音声)



福祉体験学習

当会で実施している福祉体験は、主にボランティアの方々が講師を務めています。学校や地域からの依頼の内容に応じて、学習プログラムの中から目的に合った福祉体験を提供しています。

【高齢者疑似体験】



【車いす体験】



【点字体験】



【アイマスク体験】



【手話体験】



上記以外にも、知的障がい者疑似体験、視覚障がい者の講話、聴覚障がい者の講話なども行っています。現在は、3密を避けた環境で実施できる場合や実施方法等によって依頼をお受けしていますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況により実施を中止する場合があります。また、福祉用具（高齢者疑似体験セット、車いす、点字盤、アイマスク、白杖）の貸出しも行っています。福祉体験及び福祉用具の借用をお申し込みされる場合は、約1か月前までにボランティアセンターへご連絡をお願いいたします。



福祉体験ボランティア「サポートみらい」

高齢者疑似体験・車いす体験の講師を務める「サポートみらい」は、今年で結成6年目を迎え、現在7名で活動している団体です。小・中学校や地域、団体等からの依頼を受け、高齢者や体の不自由な人についての理解を深めてもらうために活動しています。主に小学校での活動が多く、理解を深めてもらうとともに、体験を通して相手を思いやる心を育てる内容のプログラムになっています。

「サポートみらい」は、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく活動しています。現在、一緒に活動してくれる仲間を募集していますので、入会を希望される方や詳しい活動内容を聞いてみたい方は、お気軽にボランティアセンターへお問い合わせください。ご連絡お待ちしております。



新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動が制限され、今年度の活動は1度だけですが、手の消毒、マスクの着用、装具の使い回しをせず、換気をしたりと、感染予防をしながら高齢者疑似体験を実施しました。

写真は、9月6日（日）ボーイスカウト那須野営場で「ガールスカウト栃木県 第2団」の皆さんが体験した時の様子です。



▲「サポートみらい」の皆さん

みるるに引越しました

おしゃれな
図書館だな♪

でこぼこ

アイサポート
那須

▲「点訳サークルでこぼこ」の引越しの様子

▲「アイサポート那須」の引越しの様子

▲「点訳サークルでこぼこ」の活動の様子

▲「アイサポート那須」の活動の様子



黒磯駅前に、新しい図書館「みるる」が令和2年9月1日にオープンしました。「みるる」のオープンに伴い、今まで黒磯図書館を活動拠点としていた「アイサポート那須^{※1}」と「点訳サークル でこぼこ^{※2}」が11月に引越しをしました。当初は、オープンと同時に引っ越す予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期になり11月の引越しとなりました。新しいロッカーに荷物を入れる際には、今までの活動の書類や道具などを「これ、使うの？ これ、懐かしいね！」と振り返りながら収納していました。新しい拠点「みるる」での活動が12月からスタートし、ソーシャルディスタンスを保ちつつ「新しい活動の仕方」で取り組んでいます。

※1 視覚障がい者の方に読み書き支援やサポートなどを行っている団体です。

※2 点字版の那須塩原市ごみカレンダーの作成や依頼に応じて点訳などの活動を行っている団体です。



令和2年度 レクリエーション運動普及 振興功労者表彰受賞！



表 彰 状

那須塩原市レクリエーション協会 殿

あなたは永年にわたりレクリエーション
の普及振興に尽力され多大な功績をあげ
られました

よって本協会の創立記念日にあたりその
功績を讃え記念品を贈り表彰します

令和2年10月27日

公益財団法人 日本レクリエーション協会
理 事 長 樋 口 修 資



この度「那須塩原市レクリエーション協会」が、レクリエーションの普及振興に多大な功績をあげた団体として、日本レクリエーション協会から「レクリエーション運動普及振興功労者表彰」を受賞されました。

「那須塩原市レクリエーション協会」は、約50年間絶えることなく長く活動している協会です。昭和45年以前、町体育協会の中に会長1名のクラブとして存在していました。当地で昭和47年に栃木県レクリエーション大会が開催されることを契機に数名が入会し、当大会が成功裏に実施されました。昭和49年7月には規約を制定し、正式に「黒磯市レクリエーションクラブ」として再出発しました。当初は、年1回のキャンプを中心にレクを楽しみながら会員の親睦を図り、徐々にレクの楽しさを市民へと広め、春と秋の市民ハイキングを中心にレク活動を展開しました。昭和63年5月に名称を「黒磯市レクリエーション協会」に変更し、団体加入も認めることとしました。さらには、日本レクリエーション協会が提唱する全国一斉ウォークラリー大会には毎年参加開催し、その後の全国一斉「あそびの日※」キャンペーン事業にも、継続参加しています。また、平成15年度から例会を兼ねてスタートしたレクリエーション教室も継続開催しています。他には県レクリエーション大会へ参加、市主催のスポレク健康祭をはじめ身近なイベントへも積極的に参加し、レクの普及に努めています。一方、30数年来各種ニュースポーツの「種まき」にも努めており、特にシャッフルボード、カローリング、ディスコンは指導者養成講習会を開催し、現在は大会開催までに至っています。平成18年4月30日「那須塩原市レクリエーション協会」(市町合併：黒磯市、西那須野町、塩原町)に名称変更。会員も増えつつあり、現在の活動に至っています。

「那須塩原市レクリエーション協会」は、50年以上地道に様々なレクリエーション活動に挑戦し、会員各自が楽しんでます。さらには、レクの楽しさ、よろこびを市民へと普及できるよう振興に努めています。近年は、ニュースポーツの普及にも積極的に取り組み、各種団体からのレク指導要請にも対応し、レクリエーション活動の普及協力に尽力されています。

※「あそびの日」とは、スポーツ・レクリエーション、野外活動、文化活動などのさまざまな活動を通じて、人と人とのつながりや笑顔を広める取り組みです。毎年5月を中心とした約2ヶ月間をキャンペーン期間とし、2004年度から全国一斉キャンペーンとして実施しています。



ボランティア募集！

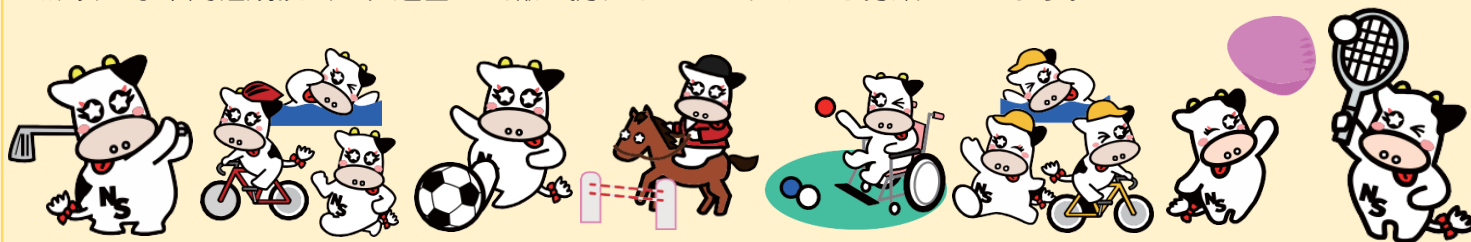


第 17 回国民体育大会

第 22 回全国障害者スポーツ大会

いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会 那須塩原市ボランティア募集！！

★令和3年に開催する「リハーサル大会」と令和4年に開催する「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の那須塩原市開催競技会で、運営・広報に携わるボランティアを募集しています。



募集期間

令和 3 年（2021）年 1 月 4 日 月 ～ 令和 4 年（2022）年 9 月 30 日 金 まで

国体・大会会期

いちご一会とちぎ国体：令和 4（2022）年 10 月 1 日 土 ～ 11 日 火

いちご一会とちぎ大会：令和 4（2022）年 10 月 29 日 土 ～ 31 日 月

● 運営ボランティア

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会（競技別リハーサル大会を含む）において、那須塩原市で開催する各競技会の受付や会場美化、弁当配付など会場内での各種サービスを行います。

● 広報ボランティア

那須塩原市実行委員会が開催する広報イベント等で、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の広報活動を行います。

- ▶ 応募条件 那須塩原市に在住、通勤、通学している高校生以上の個人及び団体とする。
※応募時点で18歳未満の方については、申込みの際に保護者の同意が必要です。
- ▶ 応募方法 実行委員会ホームページの応募フォームより申込むか、所定の申込書に必要事項を記入し、実行委員会に持参もしくは郵送、FAXにより申込む。
※18歳未満の申込みについては、保護者の同意が必要なため、持参または郵送に限ります。
- ▶ 日程・場所 希望調査を実施のうえ、決定します。
- ▶ 研修等 ボランティア登録いただいた方を対象に、研修会を実施します。時期等は追ってご案内します。
- ▶ 交通費等 交通費は自己負担となります。服飾等の識別用品及び弁当については、必要に応じて支給します。
- ▶ 保険 ボランティア活動及び研修等に当たっては、必要に応じて実行委員会の負担で「傷害保険」及び「損害賠償責任保険」に加入します。
- ▶ 問い合わせ・申込み いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会那須塩原市実行委員会事務局（市教育部国体推進課）
☎0287(38)0192 FAX0287(37)5479
- ▶ 公式ホームページはこちらから <https://nasushiobara-kokutai2022.jp/>



配食サービスボランティア募集！

活動日 毎週火曜日・金曜日（年末年始を除く）
 活動時間 10:15～12:00頃
 集合場所 健康長寿センター（那須塩原市南郷屋 5-163）
 活動開始 即日（応相談）～ 週2回

※週1回（火曜日 or 金曜日）の活動も可能です。
 内容 ひとり暮らしの高齢者等のお宅にお弁当を届けて
 声かけによる安否確認を行っていただきます。
 ※旧西那須野地区内を配送していただきます。

募集期間 随時募集中です

応募資格 74歳までの方

（活動は、満75歳の3月末までになります）

【問い合わせ・申込み】那須塩原市社会福祉協議会 地域支援係 ☎0287-37-5122

お弁当と
まごころを
お届けして
います♡



男性4人、女性18人、計22人の
方がボランティアとして活動して
います。何かやってみたいと思っ
ている方、週に2回ボランティア活動
してみませんか。



フォークダンス舞夢

フォークダンスとは「いつでも、どこでも、誰とでもできる楽しいダンス」といわれており、シンプルなステップで一体感を感じることができます。

現在メンバーを募集していますので、ダンスに興味のある方はご応募ください。初心者大歓迎です。
 運動不足の解消や仲間作りなどにぜひご参加ください。



■基本活動

毎週木曜日午後2時から4時まで活動しています。♪♪♪♪♪ Dance ♪♪♪♪♪
 子どもから高齢者まで踊れる簡単で楽しいレクリエーションダンスを中心に、世界のフォークダンスを踊りながら楽しんでいます。とってもアットホームなサークルです。
 衣装もカワ（・v・）イイ！！ 主な練習場所は稲村公民館です。

■外部発表

イベントや福祉施設、地域の小学校等よりご依頼を受けて外部発表も行っています。

■連絡先

日本フォークダンス連盟公認指導者 瀬尾順子 090-1509-3842
 那須塩原市社会福祉協議会 ボランティアセンター本所 0287-47-6700
 ボランティアセンター黒磯 0287-73-0073



2020年5月から呼びかけさせていただいた「スマイルマスクプロジェクト」ですが、12月28日をもって終了いたしました。

市民の皆さまや県外にお住いの方から心のこもった手作りマスク及び多くの材料が寄せられました。

手作りマスクは市内の病院、福祉施設、保育園、地域の見守り活動などに配布させていただきました。

皆さまのご協力ならびにあたたかいお気持ちに深く感謝申し上げます。

【配布実績12月28日現在】

◆大人用 2,057枚 ◆子ども用 1,886枚 ◆合計 3,943枚



【ボランティアセンター本所】



住 所：那須塩原市南郷屋5-163

健康長寿センター内

電 話：0287-47-6700

FAX：0287-47-6690

Eメール：v.center@ns-shakyou.jp

【ボランティアセンター黒磯】



住 所：那須塩原市桜町1-5

いきいきふれあいセンター内

電 話：0287-73-0073

FAX：0287-73-0073

Eメール：k.vcenter@ns-shakyou.jp

ボランティア活動実績

11月	イベント	0件	0人	12月	イベント	0件	0人
	託児	0件	0人		託児	0件	0人
	その他	0件	0人		その他	2件	6人
	合計	0件	0人		合計	2件	6人

ボランティア登録数（1月31日現在）

団体	個人
120団体（非公開含む）	81人



発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会

ボランティアセンター本所 TEL 0287-47-6700 FAX 0287-47-6690

〒329-2705 那須塩原市南郷屋 5-163（健康長寿センター内）

Eメールアドレス：v.center@ns-shakyou.jp

ホームページアドレス <http://ns-shakyou.jp/>

★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。

